

# 令和4年度 長井市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和5年5月

長井市（山形県）

## ○計画期間:令和3年4月～令和8年3月(5年)

### I. 中心市街地全体に係る評価

#### 1. 令和4年度終了時点(令和5年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和3年4月以降、認定基本計画に基づき「時代(とき)・エリア・人をつなぐ」をテーマに、第1期計画の検証を踏まえ、「快適・安全で市民や観光客が集まる魅力あるまちづくり」、「人が集い、回遊したくなる魅力を生む仕組みづくり」、「まちづくりを支える人材の育成及び商業活動の活性化による賑わいづくり」の3つの基本方針のもと、75事業を推進することで中心市街地の活性化に取り組んでいる。

結果として5事業が完了し、65事業が着手・実施中、5事業が未実施となった。

令和3年5月に山形鉄道フラワー長井線長井駅の駅舎と一体となった市役所新庁舎が開庁し、市内各所に分散していた役所機能が集約され市民の利便性の向上が図られた。また、駅と市役所の間にある市民交流スペースや市役所前の市道を活用したイベントも実施され、にぎわいをみせた。加えて、市民交流スペースでは電車を待つ人の姿はもちろん、飲食をする人、勉強する学生の姿も見られるようになり、市民の集う場となりつつある。

令和4年3月変更により追加したタスビル整備事業においては、ワーケーションルームやコワーキングスペース、eスポーツスタジオの整備が完了し供用を開始している。タスビルについては、令和5年度も整備が予定されており産業振興と交流の拠点施設として賑わい創出に寄与することが期待されている。

一方で、中心市街地全体としてみると新型コロナウイルス感染症の影響により、白つつじまつりや黒獅子まつりなどイベントの規模縮小や外出自粛を余儀なくされ想定していた事業の効果を得ることができなかった。歩行者通行量については感染拡大前に右肩上がりが増加していたものが、令和4年度は基準値(令和元年度)の約6割にとどまる結果であった。今後は、各事業の効果が最大限発揮されるよう官民が一体となって中心市街地の活性化を図っていく。

#### 【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

##### (1) 居住人口

(基準日:毎年度1月1日)

(中心市街地 区域)	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)
人口	3,817	3,626	3,533			
人口増減数	△64	△191	△93			
自然増減数	△20	△28	△33			
社会増減数	△44	△163	△60			
転入者数	217	120	110			

(2) 地価

(単位：円/㎡)

(中心市街地 区域)	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)
東町 10-14	19,200	19,000	18,900			

**2. 令和4年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見**

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、イベントの規模縮小や外出自粛を余儀なくされた結果、認定基本計画の目標である「都市機能の充実」において「各施設利用者数」が目標値を下回る実績が報告された。また「まちなかの回遊機能の向上」においても「歩行者・自転車等通行量」が基準値より減少し、同様に「賑わいの創出」においても「空き地・空き店舗解消数」が前年度より低い数値となった。各目標の見通しとしては、徐々に経済活動が活発になっていることに加え、今後予定されている事業の実施により目標達成が見込まれることから、概ね順調と評価する。

取り組みの課題として、観光客や公共施設利用者を商店街等の各個店が積極的に取り込んで民間活力を高めていくことが重要であり、コロナ禍を経て個店の経営規模や取り組み姿勢にも格差が表れてきた中では、商店街間の連携強化が必須であり、また一層の魅力づくりと情報発信が必要である。

今後は特に、フットパスの活用を推進し、まちをつなげるため、歩行者にとって快適な店づくりや景観づくりの取り組みを支援いただきたい。さらに、来街者や創業者が中心市街地に何を求めているのかを調査分析し、その取り組みを磨き上げていくことで、認定基本計画に掲げる諸事業がより効果的に実施されることを期待するものである。

## II. 目標ごとのフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
都市機能の充実	各施設利用者数(人/年)	128,756人 (R1)	201,700人 (R7)	92,122人 (R4)	C	1	1
まちなかの回遊機能の向上	歩行者・自転車等通行量(平日・休日の合計)	2,125人 (R1)	2,300人 (R7)	1,366人 (R4)	C	1	1
賑わいの創出	空き地・空き店舗解消数(件)	— (R1)	25件 (R7)	7件 (R3~R4)	C	①	1

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

### 2. 目標達成見通しの理由

「各施設利用者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により人数制限を余儀なくされた時期があったことや、観光ボランティアガイド事業及び地域連携DMO事業による効果を得ることができず基準値に及ばなかった。今後は、各施設を活用したソフト事業の実施により、目標達成を目指していく。また、公共複合施設の供用開始が令和5年度中であり、本施設の効果により目標達成が見込まれる。

「歩行者・自転車等通行量」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により観光ボランティアガイド事業及び地域連携DMO事業による効果を得られなかったことと、公共複合施設整備事業による効果が含まれていないことから、基準値に及ばなかった。今後は、公共複合施設整備事業及び都市計画道路桐町成田線整備事業の効果により目標達成が見込まれる。

「空き地・空き店舗解消数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が停滞し、新規出店や起業が抑えられたものと考えられる。令和4年度は4件(令和3年度からの合計で8件)の空き地・空き店舗解消を見込んでいたが、見込んでいた数値に及ばなかった。また、起業・創業支援事業補助金の活用実績も0件であったことから事業の進捗は順調でないと判断した。今後は、徐々に経済活動が活発になっていることに加え、公共複合施設整備事業や都市計画道路桐町成田線整備事業の効果もあり新規出店や土地の活用が促され目標達成が見込まれる。

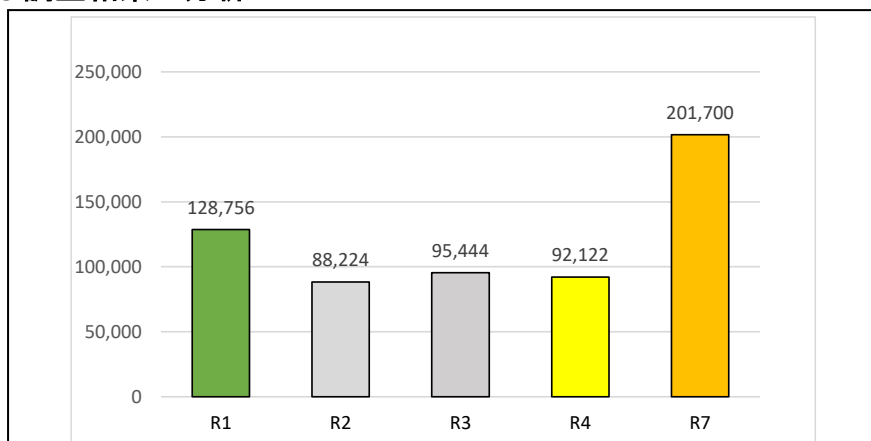
### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回から変更はない

#### 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「各施設利用者数」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 63～P. 66 参照

##### ●調査結果と分析



年	(人)
R1	128,756 (基準年値)
R2	88,224
R3	95,444
R4	92,122
R7	201,700 (目標値)

※調査方法： 図書館、子育て支援施設、文教の杜、旧長井小学校第一校舎、けん玉広場  
スパイクの利用者数を集計

※調査月： 令和4年4月～令和5年3月

※調査主体： 長井市

※調査対象： 各施設利用者



(単位：人)

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)
図書館	18,914	23,520	21,548			
子育て支援施設	2,125	2,450	2,203			
文教の杜	3,526	5,049	5,475			

旧長井小学校第一校舎	62,152	62,595	60,027			
けん玉広場スパイク	1,507	1,830	2,869			
合計	88,224	95,444	92,122			

### 〈分析内容〉

各施設利用者数の増加に向けた各事業については、ハード事業は概ね予定どおりに完了したが、ソフト事業は新型コロナウイルス感染症の影響により予定どおりに実施できなかった。

事業ごとにみると、公共複合施設整備事業については、令和5年度中の供用開始に向けて順調に整備が進んでおり施設利用者数が大幅に増える見込みである。観光ボランティアガイド事業については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり団体旅行が減少しており思うように結果が伸びなかった。

また、各施設の利用者数については、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により基準年度より利用者が少なかったと推察されるが、令和2年度と比較するとほとんどの施設で改善している。

## ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

### ①. 公共複合施設整備事業（長井市）

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【実施中】
事業概要	多機能型図書館機能と子育て支援機能を併せ持つ複合施設を整備し、市民生活の向上や賑わいの創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（都市再生整備計画（長井駅前地区））（国土交通省）（令和2年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：（図書館機能分）26,207人 （子育て支援機能分）44,483人 令和5年3月に建物が完成した。外構工事も含め令和5年7月の完成に向けて、整備は予定どおりに進んでいる。
事業の今後について	令和5年8月のプレオープン、9月のグランドオープンに向けて準備を進めるとともに、まちなかの回遊性を高めるきっかけとなる施設となるよう、継続的な賑わいの創出に向けたソフト面での取り組みも実施していく。

### ②. 市庁舎・長井駅移転事業（長井市）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	令和2年度完成の新庁舎と長井駅の合築した建物へ市役所を移転するもので、分散していた役所機能を集約し市民の利便性の向上や賑わい創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：1,040人増加 令和3年3月竣工、5月6日開庁。本事業目標値の設定にあたって

	は、フラワー長井線の乗降者増加見込みにより算出している。1日あたりの長井駅乗車人員は令和4年度（2月末時点）200人と令和元年度の246人より減少している。新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行代理店を経由した乗車が減っていることや、通学定期の利用者が減っていることが要因であると考えられる。
事業の今後について	市庁舎市民交流スペースを活用した取り組みを実施することで、来庁者を増やし、駅周辺の回遊性を高めるための交流拠点のひとつとしての役割を担っていく。

### ③. 観光ボランティアガイド事業（長井市）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	ながい黒獅子の里案内人による観光ボランティアガイドを行うもので、市内のイベント期間のみならず、観光でまちを訪れた方にまち歩きをしながら長井の魅力を伝えるもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：850人増加 令和4年度のまちなか歩きの案内実績は957人と令和元年度実績の2,306人を下回る結果であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、バスによる団体旅行が減ったことが原因であると考えられる。
事業の今後について	個人旅行でのまち歩き観光は復調を見せている。まちなかの滞在時間が延び、回遊性が生まれるよう事業を継続・拡大し実施していく。

### ④. 地域連携DMO事業（長井市、やまがたアルカディア観光局）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	長井市・南陽市・白鷹町・飯豊町・小国町の2市3町の地域の観光地域づくりを推進するため、滞在交流型観光等を企画・運営し、広く地域の魅力を発信するもの。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和元年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：436人増加 令和4年度を中心市街地に立ち寄る滞在交流型旅行商品の参加人数は204人（催行数16回）と令和元年度実績の533人（催行数32回）を下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等が原因であると考えられる。
事業の今後について	回復をみせているインバウンド需要、国内観光にむけて情報発信の強化を図る。また、重要文化的景観の町並みを生かした旅行商品を造成し、中心市街地を中心に経済が回る旅行商品の造成に取り組む。

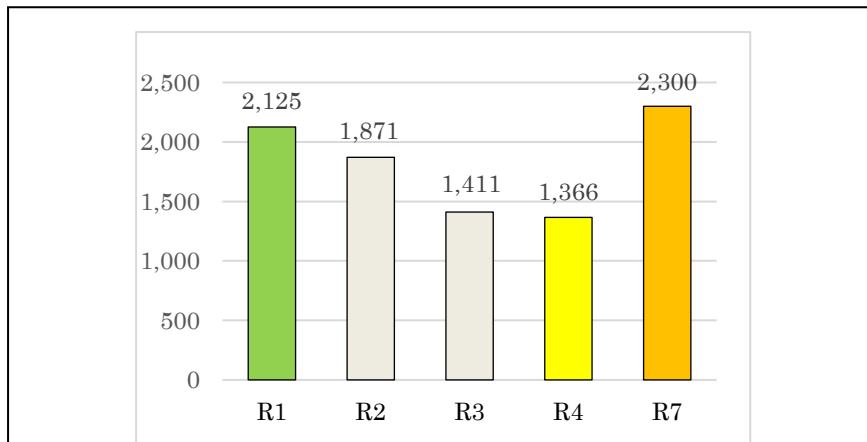
## ●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業のうち、ハード事業は概ね予定どおりに完了したが、ソフト事業は新型コロナウイルス感染症の影響により思うような結果に結びつかなかった。

今後は、ハード事業を確実に遂行するとともに、インバウンド需要や国内観光に向けての情報発信、公共複合施設をはじめとした各施設を活用した市民向けのソフト事業を継続して実施することで、施設の利用者数を増やすとともに、生まれた賑わいを中心市街地全体に波及させる仕組みづくりを進めていきたい。

(2)「歩行者・自転車等通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 67～P. 69 参照

## ●調査結果と分析



年	(人)
R1	2,125 (基準年値)
R2	1,871
R3	1,411
R4	1,366
R7	2,300 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車等通行者、毎年9～11月の平日、休日各1日ずつ、9時～19時まで計測

※調査月：令和4年11月

※調査主体：長井市

※調査対象：中心市街地内の4地点（スパイク前、市民駐車場前、桑島記念館南側（旧東北労金前）、クロスバ前）における歩行者及び自転車等の通行量



(単位：人)

		令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)
スパイク前	平日	162	91	178			
	休日	145	209	97			
市民駐車場前	平日	647	306	357			
	休日	186	284	182			
桑島記念館南側 (旧東北労金前)	平日	59	32	89			
	休日	56	83	34			
クロスバ前	平日	365	120	258			
	休日	251	286	171			
合計		1,871	1,411	1,366			

### 〈分析内容〉

歩行者・自転車等通行量の増加に向けた各事業については、ハード事業は概ね予定どおりに完了したが、ソフト事業は新型コロナウイルス感染症の影響により予定どおりに実施できなかった。

市庁舎・長井駅移転事業により、スパイク前及び桑島記念館南側の平日の通行量が令和2年度に比べ増加した。一方、休日の通行量については過去2年間（令和2年度及び令和3年度）に比べて全地点で減少している。

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①. 都市計画道路桐町成田線街路整備事業（山形県）

事業実施期間	平成23年度～令和5年度【実施中】
事業概要	都市計画道路桐町成田線における道路拡幅、歩道整備及び無電中化を行い、歩きたくなる歩行空間を形成するもの。
国の支援措置名及び支援期間	防災・安全交付金（道路事業（街路））（国土交通省）（令和3年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：クロスバ前 82人増加（基準値：565人） クロスバ前の実績は429人であり、令和元年度実績の565人から減少した。全長390mのうち南側200mは事業完了。
事業の今後について	北側区間（190m）において道路改良工事等を行い、令和5年度降雪期前には事業完了を予定している。

#### ②. 観光ボランティアガイド事業（長井市）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	ながい黒獅子の里案内人による観光ボランティアガイドを行うもので、市内のイベント期間のみならず、観光でまちを訪れた方にまち歩きをしながら長井の魅力を伝えるもの。



国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：全体で5人増加 令和4年度のまちなか歩きの案内実績は957人と令和元年度実績の2,306人を下回る結果であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、バスによる団体旅行が減ったことが原因であると考えられる。
事業の今後について	個人旅行でのまちなか歩きの観光は復調を見せている。まちなかの滞在時間が延び、回遊性が生まれるよう事業を継続・拡大し実施していく

③. 地域連携DMO事業（長井市、やまがたアルカディア観光局）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	長井市・南陽市・白鷹町・飯豊町・小国町の2市3町の地域の観光地域づくりを推進するため、滞在交流型観光等を企画・運営し、広く地域の魅力を発信するもの。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和元年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：全体で2,4人増加 令和4年度の中心市街地に立ち寄る滞在交流型旅行商品の参加人数は204人（催行数16回）と令和元年度実績の533人（催行数32回）を下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等が原因であると考えられる。
事業の今後について	回復をみせているインバウンド需要、国内観光にむけて情報発信の強化を図る。また、重要文化的景観の町並みを生かした旅行商品を造成し、中心市街地を中心に経済が回る旅行商品の造成に取り組む。

④. 公共複合施設整備事業（長井市）

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【実施中】
事業概要	多機能型図書館機能と子育て支援機能を併せ持つ複合施設を整備し、市民生活の向上や賑わいの創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（都市再生整備計画（長井駅前地区））（国土交通省）（令和2年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：全体で50人増加 令和5年3月に建物が完成した。外構工事も含め令和5年7月の完成に向けて、整備は予定どおりに進んでいる。
事業の今後について	令和5年8月のプレオープン、9月のグランドオープンに向けて準備を進めるとともに、まちなかの回遊性を高めるきっかけとなる施設となるよう、継続的な賑わいの創出に向けたソフト面での取り組

みも実施していく。

⑤. 市庁舎・長井駅移転事業（長井市）

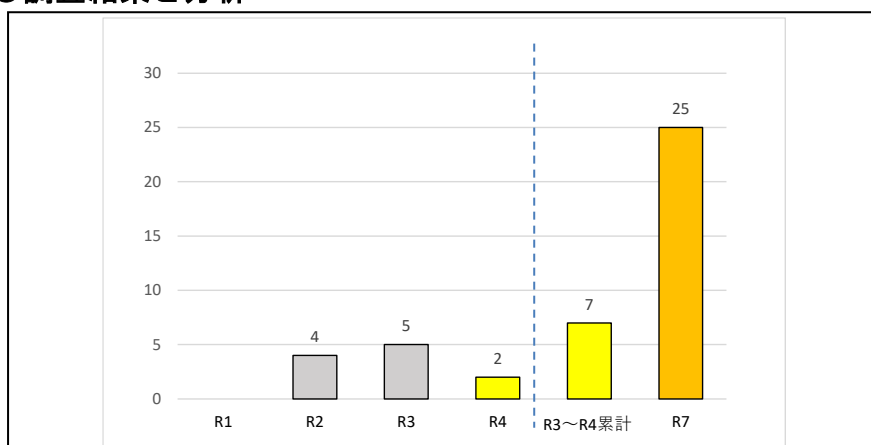
事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	令和2年度完成の新庁舎と長井駅の合築した建物へ市役所を移転するもので、分散していた役所機能を集約し市民の利便性の向上や賑わい創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：全体で130.2人増加 令和3年3月竣工、5月6日開庁。令和4年度のまちなか交流施設（建物南側の市民交流ホールや市民防災研修室、売店部分）の年間の利用者は138,801人（1日あたり380.3人）であった。分散していた役所機能を集約したことに加え、まちなか交流施設の利用により、来庁者が増加したものと推察される。
事業の今後について	市庁舎市民交流スペースを活用した取り組みを実施することで、来庁者を増やし、駅周辺の回遊性を高めるための交流拠点のひとつとしての役割を担っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

歩行者・自転車等通行量については、主要事業は概ね順調に進捗しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛等により、事業の効果は十分に発現していない。今後は、公共複合施設の利用者をまちなかに促していけるよう、ソフト事業を実施するとともに、各事業内容について工夫、見直しを行い連携しながら実績を伸ばしていきたい。

（3）「空き地・空き店舗解消数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 70～P. 73 参照

●調査結果と分析



年	(件)
R1	—
	(基準年値)
R2	4
R3	5
R4	2
R7	25
	(目標値)

※調査方法：市内5商店街における空き地・空き店舗の数を毎年9～11月のある1日を基準日と設定して計測する。

※調査月：令和4年11月

※調査主体： 長井市

※調査対象： 市内5商店街



(単位：件)

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)
本町商店街	2	2	1			
あらまち商店街	1	1	0			
駅前商店街	0	1	0			
大町商店街	1	0	0			
高野町商店街	0	1	1			
合計	4	5	2			

### 〈分析内容〉

令和4年度の実績については、空き店舗を活用し開業したケースが2件あった。新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が停滞したことで、新規出店等が減少していることが想定される。今後の都市計画道路桐町成田線整備事業や公共複合施設整備事業の完了により、新規出店や創業が促されると推察する。

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①. 起業・創業支援事業（長井市）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	空き地や空き店舗を活用して起業を希望する個人又は法人等に対して、賃借料の一部や広告宣伝費等について支援する事業

国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和3年4月～令和8年3月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：15件 最新値：0件 本事業の活用件数は0件であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が停滞したと考えられる。
事業の今後について	補助対象者及び補助額等を拡充し、空き店舗等を活用した起業支援を行っていく。

②. 都市計画道路桐町成田線街路整備事業（山形県）

事業実施期間	平成23年度～令和5年度【実施中】
事業概要	都市計画道路桐町成田線における道路拡幅、歩道整備及び無電中化を行い、歩きたくなる歩行空間を形成するもの。
国の支援措置名及び支援期間	防災・安全交付金（道路事業（街路））（国土交通省）（令和3年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：3件 全長390mのうち南側200mは事業完了。
事業の今後について	北側区間（190m）において道路改良工事等を行い、令和5年度降雪期前には事業完了を予定している。

③. 公共複合施設整備事業（長井市）

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【実施中】
事業概要	多機能型図書館機能と子育て支援機能を併せ持つ複合施設を整備し、市民生活の向上や賑わいの創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（都市再生整備計画（長井駅前地区））（国土交通省）（令和2年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：2件 令和5年3月に建物が完成した。外構工事も含め令和5年7月の完成に向けて、整備は予定どおりに進んでいる。
事業の今後について	建設工事を進めるとともに、公共複合施設内の機能や施設のオープンに合わせて実施するイベントなど、継続的な賑わいの創出に向けたソフト面での検討を進める。

④. 市庁舎・長井駅移転事業（長井市）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	令和2年度完成の新庁舎と長井駅の合築した建物へ市役所を移転するもので、分散していた役所機能を集約し市民の利便性の向上や賑わい創出を図るもの。
国の支援措置名	国の支援措置なし

及び支援期間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：5件 令和3年3月竣工、5月6日開庁。役所機能を集約したことに加え、駅と一体化したことにより利便性が向上した。また、市役所前を会場とするイベントの実施により賑わいの創出に繋がっている。
事業の今後について	市庁舎交流スペースを活用した取り組みを実施することで、来庁者を増やし、駅周辺の回遊性を高めるための交流拠点のひとつとしての役割を担っていく。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しているが、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の停滞や外出自粛等により、事業の効果は十分に発現していない。令和5年度は公共複合施設の供用開始による賑わい創出は期待できるが、それ以外にも各ソフト事業を実施することで継続的な賑わいの創出を図り、まちなかの魅力を高め、中心市街地への投資を促していきたい。また、各商店街でビジョンを検討することにより機運の醸成を図り、商店街による新たな事業の実施や人材の育成につなげていきたい。